

# 藤枝市教育委員会

## 令和6年11月定例会議案

令和6年11月14日

## 藤枝市教育委員会 11月定例会議事日程

日 時 令和6年11月14日(木) 午前10時から  
場 所 藤枝市役所西館5階 第2委員会室

開 会

会議録署名委員指名

委員

---

委員

---

日 程 第1

・諸般の報告

○教育政策課

・小規模特認校制度の状況について -P 1-

・第3回 Fujieda English Camp ～ Christmas Craft Event ～  
の開催について -P 2-

○学校給食課

・「だしで味わう和食の日」の実施について -P 3-

○生涯学習課

・宇宙教育教材「ルナクラフト」を用いた宇宙教育体験ワークショップ  
の開催について -P 4-

・令和6年度ふじのくに人権フェスティバルの開催について -P 5-

・令和7年1月の『はたちの集い』の開催について -P 7-

○図書課

・藤枝市立図書館における年末年始の対応について -P 8-

○その他

閉 会

次回教育委員会定例会：令和6年12月26日(木) 午前10時(西館5階第2委員会室)

## 小規模特認校制度の状況について

(教育政策課)

## 1 趣旨

「小規模特認校制度」について、10月11日に申し込みを締切り、9名の申し込みがあった。その後、申込者親子・学校・市教委の3者により“安全に通学と学校生活を送れること”を確認する面接を行い、申込者9名全員に、来年4月から小規模特認校制度による転入学を認める「特認校入学承認通知書」を送付したので報告する。承認者は、最終的に指定された学校を変更する手続きを行うこととなる。

## &lt;小規模特認校制度とは&gt;

市内児童が居住地で指定される小学校以外の小規模小学校への転入学を希望した場合に特例で認める制度。令和4年度入学から本市は本制度を導入し、自然あふれる環境で少人数ならではの特色ある教育が受けられる「瀬戸谷小学校・朝比奈第一小学校・葉梨西北小学校」の3校で活用できる。

## 2 承認までの経緯

- 7月下旬 広報ふじえだで告知
- 8月下旬 新1年生へちらし配布、新2年～新6年生へさくらメールを送付
- 9月4日 募集開始（～10/11）
- 9月4日～ 学校体験会（西北 9/12、朝比奈 9/17、瀬戸谷 9/4）
- 10月12日～ 学校面接（西北 10/30、朝比奈 10/17、瀬戸谷 10/22）
- 10月27日 特認校入学承認通知書 発送

## 3 申込・承認一覧（令和7年4月1日）

学校/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	卒業生
葉梨西北				2 R4(1),R6(1)	1 R6(1)	1 R7(1)	4	中1年(私立1)
瀬戸谷	4 R7(4)	2 R6(2)		1 R5(1)	1 R5(1)		8	中1年(瀬中2) 中2年(瀬中1)
朝比奈第一	2 R7(2)	1 R7(1)	1 R5(1)			1 R7(1)	5	中1年(岡中2, 藤中1) 中3年(岡中2)
学年計	6	3	1	3	2	2	17	

## 4 今後のスケジュール

- 11月上旬～ 指定学校変更手続き開始（最終的な学校変更手続き）
- 2月上旬 入学説明会（葉梨西北 2/4 朝比奈第一 2/12 瀬戸谷 2/18）
- 4月1日 入学・転校

## 第 3 回 Fujieda English Camp ～ Christmas Craft Event ～の開催について

(教育政策課)

### 1 趣旨

小学校で外国語活動を楽しんでいる小学 3、4 年生が、市内小中学校に勤務する外国語指導助手 (ALT) と一緒にクリスマスにちなんだ工作を楽しむことを通して、英語に慣れ親しむとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を高める。

Fujieda English Camp は、現在年に 4 回開催しており、第 1 回目、第 2 回目が小学 5 年生から中学 3 年生を対象としたものに対し、第 3 回目は小学 3、4 年生を対象としている。

### 2 概要

(1) 日 時 令和 6 年 12 月 15 日 (日)

A 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分

B 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分

※A、B は、同じプログラム。

(2) 会 場 藤枝市生涯学習センター 工芸室 (藤枝市茶町 1-5-5)

(3) 対象および募集人数

藤枝市在住の小学 3、4 年生 各回 25 人 計 50 人

応募人数が募集人数を超えた場合は抽選により参加者を決定する。

(11 月 6 日現在 159 名の応募有り)

## 「だしで味わう和食の日」の実施について

(学校給食課)

## 1 趣旨

11月24日は、一般財団法人和食文化国民会議が制定した「和食の日」であり、同日を「だしで味わう和食の日」として、全国の小中学校の給食で「だし」が感じられる汁物を提供し、一汁三菜の和食の良さを再認識する機会としている。

「学校給食における伝統的な食文化の推進」は、本市でも食育における主要なテーマのひとつであるため実施する。

## 2 実施日

日 程	学 校 名
11月18日(月)	藤枝小学校、藤枝中央小学校、西益津小学校、広幡小学校、岡部小学校、朝比奈第一小学校
11月19日(火)	高洲小学校、藤岡小学校、高洲南小学校、西益津中学校、広幡中学校、岡部中学校、青島中学校、高洲中学校、大洲中学校
11月21日(木)	稲葉小学校、瀬戸谷小学校、葉梨西北小学校、藤枝中学校、瀬戸谷中学校、青島北中学校、葉梨中学校、
11月22日(金)	青島小学校、大洲小学校、青島北小学校、青島東小学校、葉梨小学校、

※「だしで味わう和食の日」は11月24日であるが、調理の都合上、全校一斉での提供でなく、11月24日前となるよう実施日を調整している。

## 3 献立内容

ご飯、牛乳、竹輪の紅葉揚げ、秋野菜の煮物、三つ葉のすまし汁

※三つ葉のすまし汁には、「かつおだし」を使用し、具材には藤枝市内産の三つ葉を使用する予定。

## 4 取組内容

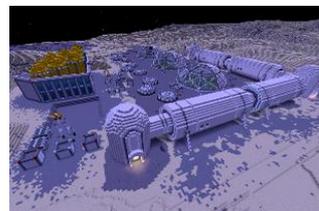
- ・「だしで味わう和食の日」献立実施日に、資料を児童・生徒に配布し、学級担任または校内放送で一汁三菜の「和食」の形や「だし」のすばらしさについて児童・生徒に伝える。
- ・資料を家に持ち帰り、家の人と一緒に和食を作ったり、和食について話をしたりすることを呼び掛ける。
- ・給食時に栄養教諭が訪問するクラスでは、栄養教諭が「和食」の形や「だし」のすばらしさについて講話する。

## 宇宙教育教材「ルナクラフト」を用いた宇宙教育体験ワークショップの開催について

(生涯学習課、教育政策課、図書課、情報デジタル推進課)

## 1 趣旨

ゲーム「マインクラフト」をプラットフォームとして、JAXA宇宙教育センターが開発した月世界を体感し探査・開拓できるメタバース教材「ルナクラフト」を、本市中学生が体験する宇宙教育体験ワークショップを開催します。



## 2 概要

主催：JAXA宇宙教育センター

協力：藤枝市・藤枝市教育委員会

タイトル：マインクラフト月面再現ワールドでPBL（問題解決型学習）に挑む

日時：令和6年11月30日（土） 午後1時から午後4時

会場：藤枝市産学官連携推進センター（B i V i キャン）

対象：中学2年生 30名（葉梨中、高洲中、大洲中、青島中、青島北中より各6名）

活動内容：【前半】月についての座学（月探査の歴史、月探査計画、月の環境、地球との違い）

【後半】グループワークショップ（6人／1組）

生徒は、月で長期滞在するために必要な施設についてグループごと議論した後、「ルナクラフト」上で月の開拓、建築等を行い、活動成果や感想を発表。

## 3 補足

- ・JAXA宇宙教育センターによる同様のワークショップは、全国で3回目。  
静岡県内では初実施。
- ・ワークショップモデレーターに、東京大学大学院情報学環客員研究員タツナミシュウイチ氏（マイクロソフト認定教育イノベーター、日本初プロマインクラフター）を迎え実施。
- ・本ワークショップは、デジタルネイティブ世代の子供たちの心に響く教材として、JAXA教育センターが開発したメタバース教材「ルナクラフト」を用いた、新たな学び方の候補であり、同センターが、「ワークショップの検証」及び、「専門家の教育効果測定の実証実験」を行うもの。
- ・「宇宙を教える」ことより「宇宙で教える」（宇宙を素材として学ぶことをきっかけに科学やその他の広いジャンルの興味を喚起する）ことに主眼を置いたワークショップ。

ルナクラフトとは

ゲーム「マインクラフト」をプラットフォームとして、JAXA宇宙教育センターが開発した月世界を体感し探査・開拓できるメタバースゲーム教材。JAXA教育センターでは、これまでも様々な宇宙に関連する教材、プログラムを制作しているが、「宇宙を教える」ことより「宇宙で教える」（宇宙を素材として学ぶことをきっかけに科学やその他の広いジャンルの興味を喚起する）ことに主眼を置いており、ルナクラフト自体も「月」をテーマにしているものの、月の知識を覚えるツールではなく、参加者が考え、調べ、仲間と協力して問題を克服する総合的な教材として使われることを想定しており、学校教育では理科以外に総合、探求、プログラミングなどの幅広い単元で使用されることが期待されている。

## 令和6年度ふじのくに人権フェスティバルの開催について

(市民相談センター、生涯学習課、教育政策課)

## 1 趣旨

県民に一人ひとりが持つ人権の大切さを訴え、人権尊重の理念について理解を深めることを目的に、静岡県人権啓発活動ネットワーク協議会と藤枝市が協力して、これからの静岡県を支える若い世代を主な対象とした、「ふじのくに人権フェスティバル」を開催する。

## 2 概要

## (1) 主催／共催

静岡県人権啓発活動ネットワーク協議会

(静岡地方法務局、静岡県人権擁護委員連合会、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、浜松市、浜松市教育委員会) / 藤枝市

## (2) 開催日・会場

日時：令和6年12月17日(火)13:30～15:40 会場：藤枝市生涯学習センター

## (3) 参加者

300名程度 (中学生、一般県民)

※静岡県健康福祉部地域福祉課人権同和対策室からの動員要請により、藤枝中学校1年生175人が式典に参加予定。

## (4) 内容

時 間	ホール	展示スペース
13:30 ～ 14:20	<式典・表彰> ・主催者挨拶 (静岡地方法務局長・藤枝市長) ・来賓紹介 ・全国中学生人権作文コンテスト静岡県大会入賞作品表彰 ・全国中学生人権作文コンテスト静岡県大会最優秀賞受賞作文朗読 ・ふじのくに人権宣言唱和	・人権ポスター、人権の花パネルの展示  ・人権擁護活動展示  等
休憩 10分		
14:30 ～ 15:40	<講演会> 講師：山田千紘氏 (モチベーションスピーカー※) 演題：「失ったものではなく今あるものを見つめていく」	

※モチベーションスピーカーとは、聴衆をポジティブ (積極的) に前向きにする話し手

## 3 過去の開催状況

年度	会場	内容 (講師・講演テーマ)	来場者
R5	磐田市民文化会館かたりあ	式典・表彰、講演 (木村泰子：みんながつくる みんなの学校)	350
R4	三島市民文化会館	式典・表彰、講演 (岩崎順子：いのちの大切さ)	250
R3	静岡市民文化会館	式典・表彰、講演 (吉川誠司：インターネットと人権)	260

※東部、中部、西部地区で、遠方からの来場のしやすさも考慮しながら開催場所を選定して実施

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
開催地	焼津市 (中部)	沼津市 (東部)	袋井市 (西部)	島田市 (中部)	富士市 (東部)	掛川市* (西部)	静岡市 (中部)	三島市 (東部)	磐田市 (西部)

\*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため会場開催せず

令和6年度

ふじのくに

入場無料・要申込

手話通訳あり

# 人権フェスティバル



人権イメージキャラクター  
人KEN まもる君

令和6年12月17日(火)

会場：藤枝市生涯学習センター ホール  
(藤枝市茶町1丁目5番5号)



人権イメージキャラクター  
人KEN あゆみちゃん

13:00 開場 13:30 開演

## 第Ⅰ部 式典・表彰式 13:30～14:20

- 「第43回全国中学生人権作文コンテスト」静岡県大会入賞作品表彰式  
※受賞者による作文朗読予定
- 「ふじのくに人権宣言」 唱和

## 第Ⅱ部 講演会 14:30～15:40

「失ったものではなく今あるものを見つめていく」

講師：山田千紘氏 (モチベーションスピーカー)

### 略歴

ケーブルテレビの営業マンとして働いていた20歳の時(2012年7月24日)、仕事からの帰宅途中で線路に転落して電車にひかれる。奇跡的に命は取り留めたものの、その代償として両足と利き腕だった右腕を切断する。

一時は絶望を味わうも、“自立”することを目標に、周囲が驚くほどのスピードで義足歩行のリハビリをクリア。その後は、職業訓練校を経て就職活動を行い22歳で社会復帰をすると同時に、一人暮らしをスタート。

会社へは自作のお弁当を持って電車通勤するなど、ホームヘルパーに頼らず“自立”するという目標もクリアした。

現在は、一般採用で航空関連会社に勤務しながらSNSを精力的に発信。2020年7月24日にYouTube『山田千紘ちーチャンネル』を開設。登録者23万人超えのチャンネルとなっている。

2023年8月28日に三肢切断としては初めて富士山登頂を果たし、モチベーションスピーカーとして学校や企業での講演など多方面で活躍している。



※プログラム等については、都合により変更する場合があります。

【主催／共催】静岡県人権啓発ネットワーク協議会(静岡県方法務局・静岡県人権擁護委員連合会・静岡県・静岡県教育委員会・静岡市・静岡市教育委員会・浜松市・浜松市教育委員会)／藤枝市

## 令和7年1月の『はたちの集い』の開催について

(生涯学習課)

## 1 趣旨

二十歳という人生の大きな節目を迎えた若者に対し、大人としての社会的責任と自覚を促すとともに、自ら生き抜こうとする若者を支え、寄り添い、励ますことで、生まれ育った地元 藤枝への愛着と感謝の気持ちを醸成する。

## 2 概要

新たな時代を切り開く若者の門出を祝い、かつ本市が将来活躍できる場であることを示す機会とする。

- (1) 主催 藤枝市・藤枝市教育委員会
- (2) 日時 令和7年1月12日(日) 午前10時30分～午前11時40分(全70分)  
※今回より第1部式典、第2部思い出づくりの2部構成とする
- (3) 会場 生涯学習センター、藤の瀬会館、市民ホールおかべ及び  
7中学校の体育館(西益津、青島、葉梨、高洲、大洲、広幡、青島北)
- (4) 実施方法 中学校区ごとの分散開催(10会場)
- (5) 実施内容 第1部 午前10時30分から午前11時05分まで(35分)  
〔・開式 ・国歌/市歌斉唱 ・主催者式辞 ・来賓祝辞  
・動画メッセージ ・二十歳の誓いの言葉 ・閉式 〕  
準備・休憩(10分)  
第2部 午前11時15分から午前11時40分まで(25分)  
〔・開式 ・集合写真 ・フリートーク ・閉式 〕
- 教育委員の皆様には、市長メッセージの動画再生後に「主催者式辞」  
をお願いします。
- ※来賓は、国会議員、県議会議員、市議会議員及び自治会長
- (6) 対象者 約1,400人  
H16.4.2～H17.4.1生まれで住民基本台帳に登録のある者及び転出者等  
で本市式典に出席希望の者
- (7) 従事者 市職員180人  
※式典運営は、職員のみで行う  
※会場責任者は、教育部所属の課長又は主幹が担当する

## 1 趣旨

長期休暇となる年末年始に、読書を楽しむ機会を提供するため、この時期ならではの積極的な図書館サービスを展開する。

利用者の利便性を向上させると同時に、読書機会を確保し、年末年始にじっくり読書を楽しめる環境を提供する。

## 2 概要

### (1) 「福本」イベントの実施（駅南・岡出山・岡部図書館）

日 時 令和7年1月5日（日） 各館の開館時間内

内 容 趣向を凝らしたテーマに沿って選書した「福本」と題した福袋を作成する。本のタイトルを隠したまま、複数の本をひとまとめにして貸し出すとともに、雑誌の付録や手作りのおまけもつけるなど、ワクワク感を提供する。お楽しみ福袋の感覚で、読書を楽しむきっかけづくりを行う。

選書は各館の会計年度任用職員も含めた全職員が行う。選書にあたり、今年はテーマやキーワードを事前に共有することで、職員の負担軽減を図るとともに、利用者に対しては統一感を感じられるイベントとする。

また、新刊本のうち、貸し出し回数が少ない資料を優先的に使用することで、新たな本との出会いを創出する。

### (2) 貸出期間の延長

対象期間 令和6年12月15日（日）～ 令和6年12月28日（土）

内 容 上記の期間中、通常の貸出期間2週間を3週間に延長する。

今年度は年末年始の休みが例年より長いため、忙しく本に接する機会が少ない方、長編小説を読破したいと思っている方、普段は手に取らないジャンルの本に挑戦してみたい人などに、特別な読書の機会を提供するきっかけづくりとして実施する。

## 3 広報

図書館ホームページや公式X、広報ふじえだ、館内掲示等で利用者に周知を図る。